

都市づくりフォーラム 第30回

都市づくりフォーラムとは

「都市づくりフォーラム」は、都市づくりの分野における情報の発信や、市民の皆さんとの意見交換を行う「広場」として、掲載させていただいております。都合により、しばらくの間お休みしておりましたが、再開させていただきます。

○都市づくりトピックス

近年、都市づくりの間で、人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを取り除くといった考え方のバリアフリー、誰もがより使いやすいものや環境を生み出していくという考え方のユニバーサルデザインと言われる言葉が、頻繁に取り上げられるようになりました。今回はそういった考え方の根底である「ノーマライゼーション」についてご紹介します。

<誰もが住みやすいまちづくり～ノーマライゼーション～>

ノーマライゼーションの思想は1960年代のデンマークにて、巨大施設に隔離された知的障がいの子供を地域に帰すという親の運動から始まったといわれています。

障がい者、高齢者、健常者に関わらず、多種多様な人たちが「共に生きる社会」の実現のために提唱された考え方で、特定の人に特殊な対応をするのではなく、誰もが何の区別もなく普通に暮らしていける社会環境を作っていくというものです。

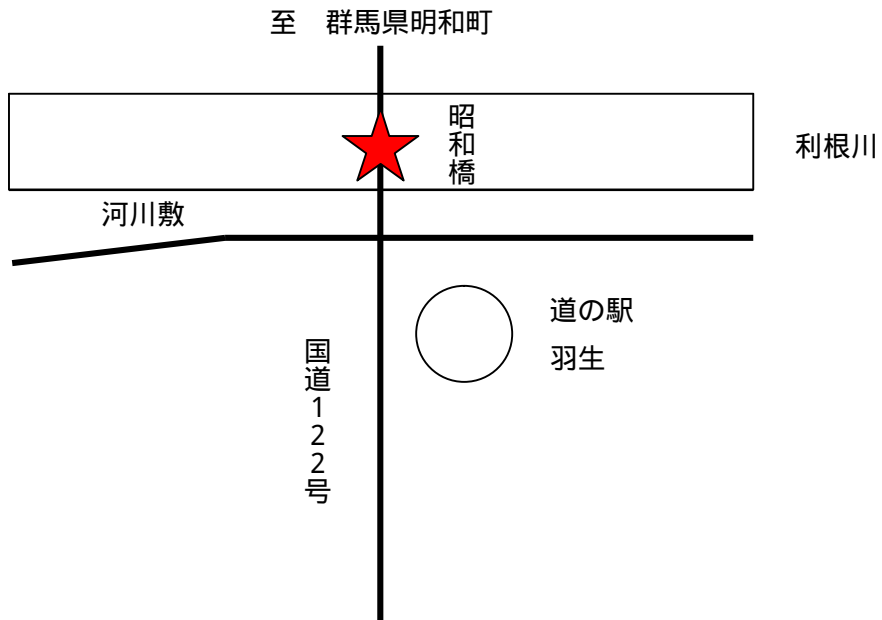
ノーマライゼーションの考え方に基づいたまちづくりを進めていくには、道路の段差の解消や介護スペースのある風呂場、トイレの設置などの都市施設や製品だけにとどまらず、資格の取得や盲導犬、介助犬等への理解など教育や文化、情報提供等に至るまで、多岐にわたる配慮が必要になってきます。

羽生市においても、ノーマライゼーション社会を実現するため、皆さんと協働し、誰もが同じように利用しやすい物や環境を作っていければと思います。

羽生のいいところミーツケ

毎回知られざる羽生市の魅力をお伝えするこのコーナー。

市制55周年を迎えた羽生市は、歴史あるまちです。このコーナーがそんな羽生市の地域や文化を伝えるための懸け橋になっていければと思っています。みなさんも羽生市の隠れたスポットをいっしょに発見していきましょう。



今回の「羽生のいいところ」は昭和橋です。

昭和橋は、群馬県との県境を流れる利根川を渡し、また路線は埼玉県東部と群馬県南東部を結ぶ重要な幹線道路である国道122号となっており、大動脈として機能しています。

かつては、日光脇往還の道筋に位置しており、橋が架けられるまでは川俣の渡しと呼ばれ、渡し船で利根川を渡っていました。そして昭和4年に初代昭和橋が開通し、その後昭和37年5月に先代のアーチ型の昭和橋が架けられましたが、交通量の増加や車両の大型化に伴い、老朽化の進行や慢性的な交通渋滞などの問題が起きていました。そのため、国道122号の4車線化に合わせ、全面架け換えが計画され平成18年3月に現在の橋（将来的に上り車線となる2車線分）が完成しました。

昭和橋は、交通手段としての実用性はもちろん、羽生市と群馬県明和町を結ぶシンボルとして、地域の活性化に大変な役割を果たしています。皆さんも天気の良い日など、河川敷で散歩やジョギング、また少し腰をおろして昭和橋を眺めてみてはいかがでしょうか。

市民フォーラム

今回で30回目となる都市づくりフォーラムですが、この市民フォーラムのコーナーは、都市づくりに関して市民の方々と広報の紙面を通じて意見交換を行う広場です。これからも皆さんと一緒に都市づくりについて考えていければと思います。羽生市の都市づくりについて感じることや疑問などをどしどしお寄せください。お待ちしております！

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は

都市計画課（内線274）

FAX 561-6380

E-mail toshikei@city.hanyu.lg.jp